

## 特集記事

-Special Program-

# 第24回岩手県障がい者スポーツ大会ボッチャ競技大会を開催しました！(5/15@ふれあいランド岩手)

## ボッチャ競技が正式種目に！

ボッチャ競技は、2021年に全国障害者スポーツ大会(以下、全スポという)の正式競技に採用されました。この理由として肢体不自由区分の種目選択の幅を広げる目的があります。特に四肢麻痺や電動車いす利用者、また通常のランニングができない立位障がい者にとって既存種目では出場を選択肢が限られており、本大会の最大の目的である「競技参加のきっかけ作り」に合致しないことが長年の課題となっていました。

この課題解決の1つの手立てとしてボッチャ競技の採用に至りました。しかし、従来の国際大会競技規則では四肢麻痺選手に限定されるため、走不能の区分の立位競技者が出場できるよう全スポ独自の競技規則を採用しています。2021年の三重大会はコロナ過により大会が中止。今回の栃木大会が大会において初めて実施されることとなります。

## 立位+座位の個人戦方式

全スポにおけるボッチャ競技の出場枠は各県とも立位選手1名、座位選手1名が基本となります。競技方法は個人戦方式で2エンド行います。立位選手が1エンド、座位選手が1エンドという感じです。どちらの区分が最初に投げるかは自由に選択できるため、立位選手と座位選手が対戦することもあります。本県の障がい者スポーツ大会でも昨年より実施し、2度目の開催となりました。全スポの障害区分に適用されないオープンクラスを含め13名が参加し、熱戦を繰り広げました！



▲ボッチャ競技の出場選手たち。座位クラスは若い選手が多いですね。



▲①立位選手の対戦。左側の附田選手は両上肢機能障害のため、足だけでボールを運びます。②座位選手の対戦。車いすだけでなく、座ったりイスを使用したりします。パドルを持つのは本県の最年少審判員です(笑)

## 北上青年会議所とのコラボ

今年度は北上青年会議所とのパラスポーツを通じた共生社会づくりを目指して一緒に取り組むことになりました。今回のボッチャ大会にも青年会議所の多くの会員が視察にいらっしやいました。ボッチャ大会の視察後は実際に卓球バレーやボッチャの体験。そして車いす操作や視覚障がいのある方の歩行ガイド体験を行いました。今後、年間を通して様々な活動を実施してまいります！



▲③ボッチャ大会の表彰式の様子。プレゼンターは北上青年会議所の今年度の遠藤理事長にお願いしました。④車いす操作のスキルアップ講習の様子。主に前進、ブレーキ、ターンの方法を体験していただきました。

## CONTENTS



### ■特集記事

P1 / 第24回岩手県障がい者スポーツ大会ボッチャ競技

### ■事業報告(4月~10月前半)

P2 / 第1回卓球バレー指導者養成講習会 他

P3 / グラウンドゴルフ、第24回岩手県障がい者スポーツ大会 他

P4 / 北海道・東北ブロック予選会 他

P5 / 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 他

P6 / ユニバーサル麻雀大会、障がい者登山教室 他

P7 / マリンスポーツ体験教室、障がい者OP卓球大会 他

P8 / 一関市&気仙沼市障がい者スポーツ協会交流事業 他

P9 / グラウンドゴルフ花巻大会、ゲートボール宮古大会 他

P10 / ハンドバイク体験教室 他

### ■会員紹介(P11~12)

P11 / 正会員一覧・賛助会員紹介~株式会社青紀土木

P12 / 賛助会員一覧・バナー広告

## ホームページについて

開催要項、申込書データのダウンロードや詳細情報は当協会のホームページよりご覧ください。

URL → <https://www.iwate-adaptive.or.jp/>



お問合せ先：一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会  
岩手県障がい者スポーツ指導者協議会  
岩手県卓球バレー協会

TEL 019-637-5055 / FAX 019-637-7626

E-mail : [info@iwate-adaptive.or.jp](mailto:info@iwate-adaptive.or.jp)

## 第1回卓球バレー指導者養成講習会を開催！

◆期日：令和4年4月23日（土）

◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）

◆レポート：本年度最初の卓球バレー指導者養成講習会です。本講習により日本卓球バレー連盟の公認指導者及び3級審判員の資格を取得することができます。参加者は新規受講者7名に加え、スキルアップ研修希望者3名と講習補助として卓球バレーチーム（アスレクト）にご協力いただきました。なお、認定証作成とルールブック購入代金を含めて受講料は1,000円としています。さて、講習では午前中は講義と卓球バレーの体験を中心に行いました。ここである程度、卓球バレーのルールとその競技特性や面白さを実感していただけます。午後からは審判方法の実技として実際に主審・副審・得点係・選手としての役割をローテーションでこなしていただきました。今回資格取得された皆様にはそれぞれの所属先や地域において卓球バレーを活用していただきたいと思っております。



▲実技では主審・副審・得点・選手の4つの役割をローテーションしながらこなします。ホイッスルはコロナ過により電子ホイッスルを使用するようになりました。

## 『希望郷いわてオープン卓球バレー交流大会2022』を開催！

◆期日：令和4年4月24日（日）◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）

◆レポート：令和4年度になってもコロナ禍の勢い衰えず、例年の参加チーム数には至りません。それでも今回は8チームが参加しました。限られた機会なのでたくさん試合ができるよう午前中は4チームの総当たり戦×2組で実施。試合数が多いため、すべて1セット11点の2セットのみ行いました。午後は各組1位と2位、3位と4位の2組に分かれて再度総当たり戦を行いました。午前・午後併せて各チーム6試合を行いました。少し疲れたかもしれませんが、そして審判団の皆さんもほぼ休憩なしでフルでの運営となりました。また、大分県から足を運んでいただいた日本卓球バレー連盟副会長兼普及委員長の堀川さんにもご協力いただきました。堀川さんには2012年、岩手に初めて卓球バレーを紹介していただいた本県にとっては大きな存在で毎年複数回参加いただいております。あらためてご協力いただいた皆様に感謝を申し上げます。



▲①アスレクトB（手前）とさんさ（奥側）の対戦。主審は板垣さん（県体協）と副審は鈴木さん（一関市スポーツ推進委員）、②花巻B（手前）とアスレクトA（奥側）の対戦。主審は池田さん、副審は白木さん（ともに県卓球バレー協会）、③表彰式でプレゼンターを務める堀川さん（日本卓球バレー連盟）

## 『いわてスポレクフェスタ2022』が開催されました！

◆期日：令和4年5月5日（木）◆会場：タカヤアリーナ（盛岡市）

◆レポート：日本スポーツマスターズ2022の開催を記念して行われたPRイベントで豪華アスリートによるトークショーやパラスポーツ体験が行われました。当協会は卓球バレーとポッチャの体験ブースを担当しました。北京オリンピックで金メダルと銀メダルを獲得した小林陵侑選手をはじめ、世界で活躍するアスリートによるトークショーやパフォーマンスは圧巻で会場は大いに盛り上がりました。



▲前列左から、小林陵侑選手、永井秀昭選手、小西あかね選手、小林潤志郎選手、谷地宙選手、高橋幸平選手、狩野亮選手

## 『グラウンドゴルフ奥州交流大会』を開催！

◆期日：令和4年5月11日（水）  
 ◆会場：江刺カルチャパーク（奥州市）  
 ◆レポート：今シーズンも奥州市江刺からグラウンドゴルフシーズンの開幕です。好天の下、県内各地から約40名のグラウンドゴルファーが参加して奥州交流大会が行われました。会場となった江刺カルチャパークは人工芝のサッカー場でプレーがしやすい競技場です。コース設定は江刺グラウンドゴルフ協会の皆様にご協力いただき、また協会員の皆様にはスコア記入を兼ねて一緒にプレーしていただきました。競技は青コースと赤コースをそれぞれ8ホール、合計16ホールのスコアで競いました。予想に反してホールインワン数は少なかったのですが、男性・個人部門は上位3名すべてがスコア30台のハイレベルな争いとなりました。結果は以下のとおりです。



男性・個人の部（2ゲーム合計）  
 第1位/鈴木 總さん（一関）/35点  
 第2位/後藤 勝郎さん（江刺）/39点  
 第3位/高橋 孝明さん（北上）/39点

女性・個人の部（2ゲーム合計）  
 第1位/菊地 次子さん（一関）/42点  
 第2位/葛尾 文子さん（花巻）/46点  
 第3位/富松 ハヤさん（金ヶ崎）/47点

団体の部（上位5名の合計点数）  
 第1位/奥州/212点  
 第2位/一関市身障協/217点  
 第3位/金ヶ崎/243点

## 『ボッチャ体験教室（盛岡市身障協）』

◆期日：令和4年6月2日（木）  
 ◆会場：パラリーナ（盛岡市）  
 ◆レポート：参加者は盛岡市、滝沢市を中心に近隣から約20名が集まりました。ここ数年、ボッチャ人気が高まっています。これは、障がい者団体にとっても同様で体験教室開催のリクエストが増えてきております。体験会では最初にボッチャのルール説明を簡単に行い、まずは「やってみよう方式」を採用しています。打球順も私たちがジャッジするのではなく、参加した皆さんに考えていただきながらやっています。この方が確実にルールを覚えていただけますし、皆でワイワイと次の作戦を考えながら盛り上がる人が多いです。今回は盛岡市と滝沢市の身障協さんに参加いただきました。このような団体間の交流にもボッチャは活用できます。



## 『第24回岩手県障がい者スポーツ大会』を開催！

◆期日：令和4年6月4日（水）◆会場：岩手県営運動公園、ふれあいランド岩手、盛岡スターレーン  
 ◆レポート：いまだコロナ禍の続く中、昨年に引き続き開閉会式の中止や販売活動の自粛など、感染防止ガイドラインの下での開催となりました。例年、多数参加している障がい者事業所からの参加が少ない上、選手送迎の対応も自粛する市町村があり、選手数は昨年より微増ながら例年と比べると4割ほどでした。スポーツ界全体を見ると大きなイベントも実施されているのですが、障がい者関係のイベントはまだまだ影響が大きいようです。

また、様々な障がいに起因する重症化の恐れは完全に解明されていないため、参加に際して慎重な対応となるのはやむを得ないことです。私たちとしては可能なかぎり安全に参加できる場所を確保することに努めたいと思います。

さて、今年は天気心配もなく、また気温も高すぎず良い条件での開催となりました。大会は全国障害者スポーツ大会競技規則に基づき実施され、個人競技の7競技（ボッチャ競技は5/15実施）が3会場で行われました。参加した選手たちは日頃のコロナ禍の影響も見せずに躍動していました。大会運営にご協力いただいた競技団体及び関係団体、ボランティアの皆様へ感謝を申し上げます。



▲①陸上競技・50m走（区分16）～この区分は日常用車いすを使用。上肢にも機能障害があります。②陸上・スラローム（区分23）～この区分は電動車いす使用者が出場。③④区分23の砲丸投&800m走～このクラスは視力のバラつきを公平にするため競技中にアイシールド着用が義務付けられます。⑤平昌パラリンピックに出場した高村和人さん。伴走を務めるのは息子の青波くん。

## 『グラウンドゴルフー関交流大会』を開催！

◆期日：令和4年6月8日（木）  
 ◆会場：一関市サッカー・ラグビー場（一関市）  
 ◆レポート：本年度2回目のグラウンドゴルフ大会は、雨が心配される中、障がい者の部は男性30名、女性10名の合計40名、一般の部には一関市グラウンドゴルフ協会員18名の合計58名が参加しました。なお、協会員の皆さんにはいつもながらコース設営とスコア記入の協力をいただきました。早めに開会式を終え、前半8ホールのラウンドをスタートしました。前半終了後、強めの雨が降ってきたためここで打ち切りとしました参加された皆様、協会員の皆様にあらためて感謝を申し上げます。以下、競技結果です。



男性・個人の部（2ゲーム合計）  
 第1位：19点/高橋 雄一さん（石鳥谷）  
 第2位：21点/千葉 貞一さん（一関C）  
 第3位：22点/伊藤 次夫さん（平泉）

女性・個人の部（2ゲーム合計）  
 第1位：23点/菊池 次子さん（一関B）  
 第2位：23点/小野 アヤ子さん（一関A）  
 第3位：24点/葛尾 文子さん（花巻）

団体の部（上位5名の合計点数）  
 第1位：116点/花巻&石鳥谷  
 第2位：125点/一関B  
 第3位：126点/一関C

## 第22回全国障害者スポーツ大会 バレーボール競技（精神障害の部）

### 北海道・東北ブロック予選会を開催！

◆期日：令和4年6月12日（日）◆会場：岩手県営体育館（盛岡市）  
 ◆レポート：今回は青森県・秋田県・仙台市・岩手県の4チームが出場。本県チーム（YSVC）は初戦（準決勝）でいきなり優勝候補の青森県と対戦した。一時試合を優位に進めた場面もあったが、相手の強烈なサーブに崩され、接戦を落とした。もう一方の山は秋田県が勝利して決勝に進んだ。決勝は青森県が制し、全国大会への切符を手にした。3位決定戦は岩手県が勝利した。岩手チームの実力は青森とほぼ互角になったと思う。青森チームには全国大会での活躍を期待したい。運営協力をいただいた岩手県バレーボール協会の皆様、大学バレーボール部の皆様、関係者の皆様に感謝を申し上げます。



▲青森県チームがとちぎ大会への出場権を獲得！

## 『パラスポーツ交流会』を開催

◆期日：令和4年6月15日（水）◆会場：パラリーナ（盛岡市）  
 ◆レポート：岩手県肢体不自由児者友の会では毎年、スポーツ交流会を実施しています。しかし、ここ数年コロナ禍で余暇活動は自粛しているそうです。今日はボッチャと卓球バレーを思いっきり楽しんでいただきました。久しぶりのスポーツということで皆さんのいきいきとした笑顔が印象的でした。



## 第22回全国障害者スポーツ大会 フットソフトボール競技

### 北海道・東北ブロック予選会を開催！

◆期日：令和4年6月19日（日）◆会場：石鳥谷ふれあい運動公園（花巻市）  
 ◆レポート：今年度より「フットベースボール」から「フットソフトボール」に競技名称が変更になりました。さて、今回の出場は例年のとおり、岩手県、宮城県、仙台市の3チームでした。出場3チームの総当たり戦を予定していましたが、2試合目途中で降雨と雷雲が近づいてきたため、3回終了時点でコールドゲームとしました。試合が長引いたことや選手の体力を考慮して3試合目は中止とさせていただきました。2勝した岩手県が優勝、以下は得失点差により第2位は宮城県、第3位は仙台市となりました。運営にご協力いただいた岩手県ソフトボール協会及び関係団体の皆様に感謝を申し上げます。



## 第22回全国障害者スポーツ大会 車いすバスケットボール競技

### 北海道・東北ブロック予選会を開催！

◆期日：令和4年6月25日（土）◆会場：岩手県営体育館（盛岡市）  
 ◆レポート：昨年のブロック予選会は中止となり、2年ぶりの開催となりました。参加チームは、札幌市、青森県、仙台市、福島県の4チームで残念ながら本県チームは選手不足によりエントリーできませんでした。  
 さて、1回戦（準決勝）は仙台市が49対18で札幌市に勝利。福島県が68対19で青森県に勝利。この2チームが決勝に進みました。決勝は一進一退の白熱した好ゲームとなりましたが福島県が56対55と仙台市を1点差で振り切り勝利しました。本大会の結果により福島県が栃木大会への出場権を獲得しました。



## パラスポーツを見て！体験して！楽しもう！ パラスポーツ体験イベントに参加！

◆期日：令和4年7月3日（日）◆会場：北上市立岩崎中学校  
◆レポート：本事業は、北上青年会議所様とのコラボ事業で昨年から準備を重ねてきました。本日は本番（11月5日開催）に向けてのプレイベントとして岩崎小学校を会場に実施しました。実施種目は主に「ボッチャ」「卓球パレー」「車いすバスケ」でした。参加者は岩崎小学校関係者や周辺住民などおよそ200名が集い、パラスポーツ体験を楽しみました。実際に参加していただくことにより、準備に必要な内容を再確認できた良い機会となりました。参加された皆様ありがとうございました。



## フライングディスクふれあい交流大会

◆期日：令和4年7月9日（土）  
◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）  
◆レポート：フライングディスクは全国障害者スポーツ大会の正式競技でコントロールを競うアキュラシーと飛距離を競うディスタンスの2種目があります。今回もコロナ禍での開催となり、昼食休憩をはさまず午前中のアキュラシー競技のみ実施することとしました。通常、アキュラシーは5mと7mの距離から行いますが、本大会はどなたでも参加しやすいように3mのクラスも設けています。当日の参加者はおよそ選手150名、ボランティア50名、スタッフ50名の合計250名ほどが参加しました。学校行事はほぼ通常通り行われているようですが、余暇活動に制限のある事業所が多いようで久しぶりのスポーツ参加となった方も多かったです。運営協力をいただいた岩手県障がい者フライングディスク協会様、ボランティアの皆様、表彰等の協力をいただきました実行委員の皆様にご感謝を申し上げます。



▲①今回もアキュラシー競技のみ実施（8サイト）となりました。  
②テーマソングに併せて拍手での選手入場。③表彰式の様子。早くコロナ禍が明け、バンザイ隊を復活させたいところです。

## 令和4年度初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を開催！

◆期日：令和4年7月16日（土）～18（月）  
◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）  
◆レポート：この資格は（公財）日本パラスポーツ協会の公認資格となります。参加対象者は18歳以上の方となります。講習のカリキュラムは「身体障害」「知的障害」「精神障害」のいわゆる三障害についての概論的な部分と各障がいに応じた指導法、実技では全国障害者スポーツ大会の実施種目等を合計21時間（3日間）で行います。

今回の受講者は12名と少な目でしたが、その顔触れは県職員、市職員、老人関係施設、スポーツ協会、特別支援学校、社会福祉協議会、スポーツ推進委員と多様でした。まさにこれからの「横につながる」をキーワードにした取組みに必要となる人材です。また指導者養成は地域における障がいのある方々のスポーツ環境整備には欠かせない事業です。本県では7月には盛岡市、1月には沿岸地区で2回講習会を実施しております。是非、多くの皆様にご受講いただきたいと思っております。



## いちご一会とちぎ大会『派遣選手第1回強化練習会』を開催！

◆期日：令和4年7月23日（土）  
◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）  
◆レポート：この練習会は全国障害者スポーツ大会（以下、全スポという）に本県代表として派遣される選手を対象としています。この全スポですが、2019年の茨城大会は大型台風の接近により中止。その後の2020年鹿児島大会、2021年三重大会はコロナ禍により中止。実に4年ぶりの開催となります。選手選考は競技団体や市町村などからの推薦を受け、直近の県障がい者スポーツ大会での成績や大会出場経験なども考慮して選考されます。本日は個人競技に出場する28名を対象とした練習会です。午前中の全体ミーティングでは自己紹介や大会概要説明、ユニフォームの採寸などを行い、午後からは各競技に分かれて2時間程度練習を行いました。



## 『卓球バレー指導者養成講習会 in 久慈』を開催！

◆期日：令和4年7月24日（日）◆会場：久慈市民体育館  
◆レポート：今年度からインクルーシブスポーツ推進事業が始まりました。インクルーシブスポーツの代表格であるボッチャと卓球バレーの指導者養成や交流大会の開催に取り組んでいきます。その第1弾が久慈市での卓球バレー指導者養成講習会です。久慈市は卓球バレーを通じた共生社会づくりの取り組みでの先進的な地域です。10月には卓球バレー久慈交流大会（第4回あまちゃんカップ）の開催も予定しています。この取り組みをモデルケースにして地域でのインクルーシブスポーツを通じた共生社会の推進に取り組んでいきたいと思ひます。



## 第5回岩手県ユニバーサル麻雀交流大会

◆期日：令和4年7月31日（日）◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）  
◆レポート：ゲームアプリを活用したオンラインでの麻雀大会です。自宅から参加できるので、重度障害等により外出困難な方でも参加できます。今大会も県内外から20名がエントリーしてハイレベルな戦いが繰り広げられました。午中の予選リーグはランダムで東風戦を3回行い、上位8名が午後の準決勝に。最終は4名が決勝戦に進み頂点を争います。結果は次のとおりです（氏名はプレイヤー名）。入賞者の皆様、おめでとうございます！第1位：叡智な蟻さん、第2位：ブラッシュさん、第3位：とよいちさん、第4位：ミシマさん 次回もまた楽しみにしております！皆さんご参加ください！



## 八幡平へGO！障がい者登山教室

◆期日：令和4年8月7日（日）◆会場：八幡平レストハウス  
◆レポート：天気は曇りベースで午後からは雷雨の予報も出ておりました。また、登り始めるころには霧が発生してきて、景色が楽しめるか不安になりました。しかし、連日の猛暑が続く中、気温は20℃ほど。さすが八幡平です。参加者は約30名でうち3名が車いす利用者でした。事前に参加者を4つのグループに分かれ、各グループのリーダーは岩手県山岳・スポーツクライミング協会の皆さんが務め、安全指導に加えて山岳ガイドもしていただきました。



▲八幡平遊歩道の入口付近～出発時にはガスが出始めました

登山開始後20分ほどで最初のビューポイントの鏡沼に到着。10年ほど前から雪融けの姿が龍の目に似ていることから「ドラゴンアイ」という名称で一躍有名になりました。この現象は5月中旬頃から6月下旬まで見られます。続いてメガネ沼を通過し、一気に山頂へ。ここで記念撮影をして一休みです。帰りは霧の流れる合間に見えるガマ沼、八幡沼の美しい景色を眺め、下山しました。久しぶりに見る八幡平の絶景とマイナスイオンたっぷりの森林浴。やっぱり八幡平は面白い！



▲①八幡平頂上にて恒例の記念撮影。八幡平山頂の標柱には1,615mと書かれていますが、東日本大震災の影響により現在は1,613mとなったようです。②使用する車いすは電動アシスト付の車いす（OX社製ですが現在は生産中止になったようです）。サポーターは前に二人、後ろに一人の3名体制です。可能であれば車いす利用者も自走いただき、本人・サポーター・電力の3つの力で登ります。モデルは車いす陸上の小野寺萌恵さんです。陸上だけでなく、登山もスキーも様々なことにチャレンジして楽しんでます。③山頂通過後はガスが晴れて記念撮影スポットが随所に出現しました！

# マリンスポーツ体験教室を開催！



◆期日：令和4年8月20日（土）◆会場：リアスハーバー宮古（宮古市）



◆レポート：今年のマリンスポーツ教室は好天に恵まれ、心地よい海風の中で行われました。シーカヤックとボートクルージングを体験できるため、今年も多くの方々に参加いただきました。アウトドアでのレクリエーションは安全管理が重要ですので運営は全体指導がいわてマリフィールドのスタッフがボートでの巡視と転覆の際の救助等を行います。シーカヤックの指導は宮古市シーカヤック協会の皆さんにお願いしています。また、車いすからカヤックやボートへの移乗は理学療法士や作業療法士の皆さんとともに行います。多くのスタッフに支えられ今年も楽しい「海の散歩」となりました。

## ボッチャ体験教室（見前南公民館）

◆期日：令和4年8月21日（日）◆会場：見前南公民館（盛岡市）

◆レポート：この体験教室は地域住民との交流を目的としています。ボッチャ競技は東京パラリンピックで多くの方々の関心が高まっています。参加者のうちボッチャを体験したことがある、あるいはメディアで見たことがあるという方がほとんどで地域レベルまで浸透していることを実感しました。今回もいつもの体験教室のようにミニコートを使用して楽しみやすい形で行いました。楽しかった、またやりたいという声を聞くことができてよかったです。



## 第3回岩手県障がい者オープン卓球大会

◆期日：令和4年8月27日（日）

◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）

◆レポート：昨年はコロナ禍より中止となりましたが、今回は岩手県卓球協会の協力の下に無事に開催することができました。参加選手は30名と少なく、まだまだコロナ禍が続いております。それでも日頃から競技として卓球に取り組んでいる選手にとって大会参加は目標となるはずですが、当協会としても感染症対策を行いながら継続して取り組んでいきたいと思っております。

なお、本大会は独自のクラス分けを採用しています。T1クラスは車いす使用、T2は立位の身体障がい者、T3は知的、精神障がいのある方、T5はサウンドテーブルテニスのクラスです。なおT1は車いす使用、T5はアイマスク使用を条件に健常者でも出場可能としています。



## 一関市 & 気仙沼市障害者スポーツ協会交流事業

# 第5回卓球バレー交流大会



◆期日:令和4年9月4日(日)  
◆会場:小泉公民館(気仙沼市)



◆レポート:本事業は地域における障がい者スポーツの拠点づくりとして取り組んでいる一関市障がい者スポーツ協会と気仙沼市障害者スポーツ協会のスポーツ交流事業として2018年からスタートしました。コロナ禍で開催が危ぶまれた年もありましたが、今回で5回目の開催となります。両市が取組む卓球バレーの交流大会と審判講習を兼ねて実施しています。両市の他、近隣の大船渡市から6チームが参加して交流戦を行いました。開催にあたり気仙沼市障害者スポーツ協会には大変お世話になりました。今後も両市の交流を通して地域におけるスポーツ参加環境整備に取り組んでいきたいと思ひます。

## 第1回岩手県ポッチャ交流大会

◆期日:令和4年9月10日(土) ◆会場:パラリーナ(盛岡市)

◆レポート:当協会の主催事業としては初めてのポッチャ大会の開催です。近年、注目が集まるポッチャですが、大会を開催してほしいとの声も多く聞かれるようになりました。今回は午前中にポッチャ指導者講習会、午後はポッチャ交流大会を企画しました。午後のポッチャ大会には18チームに参加。ローカルルールを採用してバドミントンコートを活用したミニコートを使用。1チームは2名~6名、障がいの有無を問わずに参加可能としています。参加したチームは特別支援学校の同級生、親子3世代チーム、近所のお仲間グループなど多種多様です。初めてポッチャをする方もおりましたので最初にポッチャのルールと試合の流れを確認してゲーム開始。セルフ審判制を採用して各チームでボールの近くまで来て戦略を立てながら盛り上がっていました。インクルーシブスポーツの代表と言われるポッチャの力を感じる大会となりました。



## フラインドラグビー体験会を開催!

◆期日:令和4年9月11日(日)

◆会場:ふれあいランド岩手(盛岡市)

◆レポート:ブラインドラグビーとは「視覚に障がいのある方々」が行うラグビーで2015年にイギリスで考案されました。日本では2018年に紹介され、2019年にイギリスからコーチを招いて講習会を開かれたのをきっかけに同年4月1日に一般社団法人日本ブラインドラグビー協会が設立されました。今回の教室は同協会より開催の打診があり、実現しました。基本的なルールは一般的なラグビーと同じですタックル、押し合いのスクラムはなくタッチでおこないます。安全面に配慮しながら、さらには健常者もプレーできるなど、ラグビーを楽しむだけでなく、視覚障がいへの理解や共生社会づくりを目的として行われている競技です。



## 『グラウンドゴルフ花巻交流大会』を開催！

◆期日：令和4年9月13日（火）  
 ◆会場：日居城野運動公園（花巻市）  
 ◆レポート：奥州市江刺、一関市に続き今年度3回目のグラウンドゴルフ交流会です。最高気温が30度となる予報で残暑が厳しい中での大会となりました。地元花巻市、一関市、奥州市、金ヶ崎町、北上市から約50名が参加してグラウンドゴルフでの交流を楽しみました。日居城野のコースは以前、ゴルフ場だったため林に囲まれた美しい景観を保っています。木陰も適度にあり、水分補給をしながら2ラウンドプレーしました。結果は以下のとおりです。



男性・個人の部（2ゲーム合計）  
 第1位：藤井 公博（花巻東和）／42点  
 第2位：高橋 雄一（花巻石鳥谷）／47点  
 第3位：小原 直幸（花巻東和）／47点

女性・個人の部（2ゲーム合計）  
 第1位：富松 ハヤ（金ヶ崎）／40点  
 第2位：菊池 次子（一関大東）／45点  
 第3位：高橋 静子（花巻石鳥谷）／48点

団体の部（上位5名の合計点数）  
 第1位：はなまき／249点  
 第2位：江刺身障会／254点  
 第3位：いちのせき A／255点

## 宮古田老ゲートボール交流大会を開催！

◆期日：令和4年9月14日（水）～15日（木）  
 ◆会場：グリーンピア三陸みやこ（宮古市）・パシフィックアリーナ  
 ◆レポート：今年も宮古市田老にやってきました。会場となるパシフィックアリーナは屋内のゲートボールコート8面の全国でも有数の施設です。当協会ではゲートボールをインクルーシブスポーツの要として位置づけています。ゲートボールは元々、男女混成で行うのが一般的であり、車いす選手のスパーク方法の工夫、肢体不自由選手の時間制限の緩和など、障がいのあるなしに関わらず競い合うことが可能です。また、昨今のゲートボール人口の減少もあり、本大会においても健常者チームの参加を歓迎しています。  
 さて、今回は10チームが参加して2日間に渡り1チームあたり7試合を行いました。初日の宿はグリーンピア三陸みやこです。今回は応援割などを活用したので1泊4,000円で2食付きです。夕食もいつもながら豪華でボリューム満点。チームの皆さんとの交流に花が咲きました。2日間の最終成績は以下のとおりです。  
 第1位：閉伊川／6勝1敗／+38  
 第2位：洋野町チーム／5勝2敗／+21  
 第3位：はまなす／5勝2敗／+14



## いちご一会とちぎ大会派遣選手 第2回強化練習(合宿)

◆期日：令和4年9月17日（土）～18日（日）  
 ◆会場：ふれあいランド岩手、盛岡スターレーン、サンセール盛岡（宿泊）  
 ◆レポート：4年ぶりの開催となる第22回全国障害者スポーツ大会（いちご一会とちぎ大会）に派遣される選手を対象とした強化合宿を2日間に渡り実施しました。初日は全体ミーティングにて大会派遣の日程や移動方法、宿泊場所を確認しました。その後は各競技での練習会を行いました。なお、参加者全員に抗原検査を行いました。本大会においても出発前のPCR検査やほぼ2日に1回の抗原検査が義務付けられるなど、まだまだコロナ禍が収まらない中での実施となります。何とか大会が開催され全員が笑顔で無事に帰ってくることを祈りたいと思います。



▲選手団の藤井団長あいさつ（全体ミーティング）



▲①今回初めて実施されるボッチャ競技。座位クラスは大矢康生選手、立位クラスは菅原芳輝選手が出場する。②陸上競技の4×100mリレーは知的障害区分のみ実施され男女混合で行われる。メダル獲得に期待がかかる。③砲丸投げの小笠原智選手（画像中央）。茨城大会では大会中止となり、念願の出場となる。

# ハンドバイク体験教室を開催！



- ◆期日:令和4年10月1日(土)
- ◆会場:ふれあいランド岩手周辺

◆レポート:今回も東北ハンドバイク協会代表の巴雅人さんとスタッフの橋本宣史さんを講師にお招きして実施した。参加者の年齢層は小学校から60歳代と幅広い。サポートスタッフとして理学療法士などのリハビリ専門家に加わっていた。様々なサポートしていただいた。初体験者は2名であった。経験者も昨年以來か数年ぶりという方もいた。最初はフィッティングを行い、その後陸上とらうくにて基本操作を確認。その後、巴さんから交通ルール順守の説明があり、いざ公道へ！ハンドバイクは車いす利用者が自転車感覚でのスピード感や風を切る爽快感が何ともいえない魅力である。ふれあいランド岩手会場では定番コースの北上川河川敷コースを含む約5kmの周遊コースを楽しんだ。やりたいと思う時に仲間で集まりツーリングができる環境作り。この事業のゴールである。



▲ハンドバイクの基本操作と交通ルールについて敷地内にてしっかりレクチャーを受けます。

## 陸上競技練習会を実施

◆期日:令和4年10月2日(日)  
◆会場:日居城野陸上競技場(花巻市)  
◆レポート:4年ぶりに開催される全国障害者スポーツ大会(いちご一会とちぎ大会)に向けての強化練習会を開催しました。今回のとちぎ大会に出場するのは、2019年の茨城大会に出場予定だった選手も多く含まれます。この中でも注目は車いすレーサーで記録更新を続けている小野寺萌恵選手と陸上・短距離の佐藤鮎世選手です。二人でもこのまま成長して世界に羽ばたいてもらいたいところです。最近、若い選手の台頭が続いていますが、これもひとえに長年ご協力いただいている陸上コーチの皆さんや選手のコンディショニングを担当いただいている作業療法士の皆さんの力があってこそのものであります。



## 株式会社エイチアイティー様より「楽天ユニフォーム」を贈呈いただきました

◆期日:令和4年7月19日(火)  
◆レポート:株式会社エイチアイティー様よりプロ野球チーム・東北楽天イーグルスのユニフォームレプリカを贈呈いただきました。このシャツは「東北ブルー」と呼ばれ、一般的にはあまり目にする機会が少ないモデルです。当日は同社の代表取締役である高橋 寿(ひさし)様がふれあいランド岩手を訪れ、シャツ約400枚を贈呈いただきました。高橋さんは様々なスポーツに関心があり、特に障がい者スポーツに取り組む方々を応援する機会を探しておりました。また「コロナ過で活動制限を受ける選手の皆様に何か明るい話題を届けられたら」と応援メッセージをいただきました。今回は縁があり、当協会がいただくことになりましたが、本県のフットベースボールやソフトボールチームなどの団体競技に加えて、東北管内において障がい者スポーツに取り組む選手や支援する方々にお渡ししていきたいと思っております。株式会社エイチアイティー様にあらためて感謝を申し上げます。



▲中央が(株)HIT代表取締役・高橋 寿氏、左:当協会の藤井会長、右:当協会の三浦事務局長

## 正会員一覧（団体）

岩手県 ID バスケットボール連盟 / (一社) 岩手県作業療法士会 / (社福) 岩手県視覚障害者福祉協会 / (社福) 岩手県社会福祉協議会 / (社福) 岩手県社会福祉事業団 / (社福) 岩手県身体障害者福祉協会 / 岩手県スポーツウエルネス吹矢協会 / (NPO) 岩手県精神保健福祉連合会 / 岩手県知的障がい者サッカー連盟 / 岩手県知的障害者ソフトボール協会いわてスマイリーズ / 岩手県特別支援学校連絡協議会 / 岩手チエアスクークラブ / 岩手リハビリテーション学院 / (一社) コ・イノベーション研究所 / サークル「ゆうの会」 / (社福) 自立更生会 / 全国脊髄損傷者連合会岩手県支部 / (社福) 手をつなぐ / (株) トラスト保険 / ドルフィンズ岩手 / (株) 富山冷機工業所 / 山口北洲印刷 (株) ラッセル岩手

## 正会員一覧（個人）

阿部 史憲 / 伊藤 昇 / 井上 勝巳 / 井上 君之 / 今宮 正彦 / 岩淵 典仁 / 上村 弥 / 及川 貞之 / 小江 巧 / 小原 敏弘 / 軽石 義則 / 菊池 幸子 / 小坂 亜純 / 佐々木 君夫 / 佐々木 茂 / 笹木 正 / 佐々木 満 / 佐藤 勝士 / 佐藤 志学 / 佐藤 慎二 / 佐藤 隆秀 / 佐藤 佑哉 / 篠原 政良 / 白藤 友一 / 菅原 幸二 / 高橋 修 / 中野 正紀 / 野辺地 省吉 / 藤井 公博 / 三浦 拓朗 / 民部田 誠 / 横沢 高德

### 会員紹介

-Our Partners Introduction-

当協会の活動は多くの賛助会員により支えられています。このコーナーでは賛助会員である企業・団体の CSR 活動などを紹介してまいります。第1回目は株式会社青紀土木代表取締役社長の青木健一様のインタビューを紹介いたします。

### 株式会社 青紀土木

この手で 当たり前の日常を支え  
この手が 地成る未来を創る、

#### 代表者あいさつ ～地域と共に～

昭和 55 (1980) 年創業の青紀土木は創業者 青木正紀の丁寧で堅実な仕事振りが評価され、評判が次の仕事を呼び、いっぽ一歩着実に成長してまいりました。幾多の試練も柔軟な発想とたゆまぬ努力で乗り越え、多様なニーズにお応えする事で JR 東日本・三陸鉄道など公共事業の枠に留まる事なく活躍の場を拡げてまいりました。平成 23 (2011) 年 3 月 11 日発生した東日本大震災による大津波に遭い、三陸沿岸は壊滅的な状況となり、弊社も社屋の流出始め甚大な被害を受け、前日の夜間作業で非番だった大切な 2 名の社員を喪いました。

深い悲しみを心に携えながら、沢山の皆さまにご支援ご協力を頂き、社員一丸となって道路啓開・がれき撤去・応急復旧と常に復旧・復興の最前線で注力してきました。震災から 10 年、新しく出来上がったこの街で、これからも変わらず地域と共に歩み、インフラ整備を通して地域社会に貢献する、縁の下の力持ち企業として私達、株式会社 青紀土木は復興の「その先へ」向かいます。



代表取締役社長  
青木 健一

#### Q: 現在の場所にはいつから？

A: 元は釜石市平田地区に本社があったが、東日本大震災で被災し、鶴住居地区にあった資材置場に仮設事務所を建設し、現在の場所に仮移転した。復興の区画整理も終わり、平田地区に 2025 年に本社を戻す予定である。

#### Q: 震災の被害は？

A: 社屋・重機・ダンプなど流出、当日出勤していた社員は全員無事であったが、休みだった社員 2 名が亡くなった。

#### Q: 震災の状況は？

A: 当時、北上営業所にいたが、翌日に釜石に入り、がれきに埋もれた惨状を目の当たりにし、自分たちが撤去作業をしなければいけないと思った。県との災害協定により建設業協会会員が自主的に参集したが、被災した会社が多く役割分担しながら作業を行った。

#### Q: 会社の概要を教えてください。

A: 建設会社は一般的に公共事業が主となるが、当社は JR 東日本や三陸鉄道や製鉄所関係など民間事業の方が多い。本社は JR 釜石線全線、三陸鉄道リアス線全線、北上営業所は東北新幹線くりこま高原駅～いわて沼宮内駅間の修繕を JR パートナー会社から当社が請け負っている。東北新幹線は開業から 40 年以上経過しており、日々、点検と修繕が必要である。その際、作業ミスによって、運行できない状況になると億単位の損害賠償が生じるので当社はルールを遵守し経験豊富な責任者の下、事故がないよう作業を行っている。

#### Q: 前から建設業を行っていたのですか？

A: 先代社長は地元の者ではなく、他社と差別化する為に鉄道や製鉄所関係など民間工事に注力する事に活路を求め、お客さまに支持され現在に至っている。



▲令和 2 年 12 月 7 日、釜石東中学校の生徒たちが選んだデザインをラッピングしたアートラッピングバックホウ（ハラルボニー×アオキドボク）が完成した

#### Q: ハラルボニーとの関わりについて教えてください。

A: 自分の子が未熟児で生まれ、何らかの障がいが残るといわれたが、現在は普通に会社勤めをしている。これ以降、福祉に対してずっと関心を持っていた。かまいし未来づくり委員会の委員長を務める中で、震災を経てこれからを生きる地域がより良くなるために多様性を認めあうことが重要だと感じている。それを体現する 1 つの形として重機に障がいのある方が描いたアートをラッピングすることを考え、ハラルボニーさんに相談した。画像のバックボウのデザインは釜石東中学校の生徒さんの投票により選ばれたデザインである。障がい者スポーツへの支援も同様の理由である。障がいのある人もない人も互いを認め合い、誰一人取り残すことなく幸せになってもらいたいと考え、当社として今後も様々な形で支援していきたい。

**賛助会員**  
-Our Partners-



いつもあたたかいご支援をいただきありがとうございます！

(令和5年7月31日現在 敬称略・五十音順)

**賛助会員一覧 (団体)**

アーク株式会社 / 株式会社 アイエムアイ / 株式会社 アイシーエス / 株式会社 IBC岩手放送 / 株式会社 アウトレジャー  
 株式会社 青紀土木 / いしどりや眼科 / 株式会社 一条工務店仙台 / (一社)岩手県医師会 / (一社)岩手県建設業協会  
 岩手県産株式会社 / 岩手建設工業株式会社 / 岩手県都市ガス協会 / (一社)岩手県理学療法士会 / 岩手スポーツ用品販売株式会社  
 いわて生活協同組合 / 岩手電工株式会社 / 岩手トヨペット株式会社 / 株式会社 岩手日報社 / 岩手雪運株式会社  
 岩手リオン補聴器センター / 江刺岩手ライオンズクラブ / 株式会社 エヅリコ・エンジニアリング / 株式会社 エヌエスオカムラ  
 株式会社 FPホームサービス / 株式会社 遠忠 / 岡崎建設株式会社 / 有限会社 小沢商会 / 株式会社 カガヤ / 鎌田水産株式会社  
 株式会社 川徳 / 株式会社 管文 / 株式会社 菊池技研コンサルタント / 株式会社 菊地建設 / 株式会社 北日本銀行  
 北日本建機工業株式会社 / 北日本通信株行会社 / 株式会社 久慈設計 / 栗原建設株式会社 / 小岩金網株式会社  
 株式会社 公楽 / 株式会社 小林精機 / 株式会社 齊藤興業 / 株式会社 佐賀組 / 株式会社 佐武建設 / 株式会社 佐藤興産  
 株式会社 佐藤政行種苗 / 株式会社 志百家 / 株式会社 ジャスト・コンサルタント / 株式会社 寿広 / 昭栄建設株式会社  
 白金運輸 株式会社 / 有限会社 新栄観光バス / 株式会社 新興製作所 / 株式会社 スパット北上 / 株式会社 関建設  
 ゼビオ株式会社ネクススカンパニー / 有限会社 タイガースポーツ / 太平洋セメント株式会社大船渡工場 / 株式会社 丹野組  
 株式会社 テレビ岩手 / 東北エンジニアリング株式会社 / 東北住建株式会社 / 東里工業株式会社 / 株式会社 都南建設  
 トヨタカローラ岩手株式会社 / 株式会社 中野製麺 / 株式会社 日盛ハウジング / 日本身体障害者団体連合会東北事業所  
 ネットトヨタ岩手株式会社 / 橋爪商事株式会社 / 株式会社 長谷川建設 / 東野建設工業株式会社 / 府金製粉株式会社  
 株式会社 藤沢体育堂 / 株式会社 ベルジョイス / 北良株式会社 / 株式会社 マイヤ / 株式会社 マルノ  
 みちのくココ・コーラボトリング株式会社 / 株式会社 ミツ星商会 / 南建設株式会社 / 宮城建設株式会社 / 三八五観光株式会社  
 名鉄観光サービス(株)盛岡支店 / 株式会社 明和土木 / 盛岡商工会議所 / 医療法人友愛会 盛岡友愛病院 / 株式会社 ヤマイチ  
 株式会社 やよいディライト / 株式会社 ユニバース / 株式会社 Yumeka / 株式会社 吉田測量設計 / 有限会社 吉野電設  
 株式会社 米澤商事 / 菱和建設 株式会社 / 社会福祉法人 若竹会

**賛助会員一覧 (個人)**

菅 里美 / 藤村 誠 / 堀川 裕二 / 白畑 由貴子 / 浅沼 秀夫 / 阿部 志郎 / 村田 美幸 / 高橋 千恵子

**バナー広告掲載中!**

賛助会員のバナー広告は無料で掲載しております。現在、以下68団体のバナー広告を掲載中。その他、掲載依頼がありましたら随時、当協会HPにアップいたします。詳細につきましてはお問合せ下さい。
